



老人保健施設 サンタマリアニュース

シスターのことば

救い主の母マリアさま ―神への旅、信仰の旅路―

聖書の中に、イエスの母、マリアさまの身に起こる出来事がいろいろ話されています。その箇所を捜すとき、そこにはいつも、御子イエス様の存在を見出します。

マリアさまが、キリストとなられたイエスの秘儀に登場することになったのは、天使の「お告げ」というあの出来事でした。神の使いはナザレで、このおとめに「恵まれた者、喜びなさい。主はあなたと共におられます。」(ルカ 1.28)と言います。

初めて、天使がマリアに伝えた生ける神の言葉は、彼女の身に関する事でした。「あなたはみごもって男の子を産むでしょう。」(ルカ 1.30) この告知を受諾することによって、マリアは「主のおん母」となり、受肉の秘儀が彼女のうちに成就するはずでした。マリアは天使の声をすべて聞いたうえで、「わたしは主のはしためです。お言葉どおりに、この身になりますように。」(ルカ 1.38) といっって受諾しました。

これがマリアさまの「神への旅」、信仰の旅路の出発点となりました。

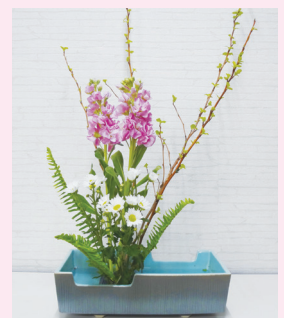
私たち人生の途上で日々起こる出来事は、神への旅です。「神の定めは悟りがたく、その道は究めがたい」(ローマ 11.33) 日々起こる出来事を大切に思い巡らし、信頼をもって父なる神に委ね、救い主キリストに助けを願い、神の母、マリアさまのお取次ぎによって必要な恵みを願いましょう。

「救い主の母」教皇ヨハネ・パウロ二世回勅より抜粋。



社会事業相談員 Sr.高橋 順子

― 利用者様の作品 ―



人の必要に応えて

私たちの社会福祉法人の活動が始まってから70年たちました。70年前といえば、終戦直後で、医療制度、福祉制度、教育制度も整っておらず、多くの人がそれを求めておりました。そのような時代の中で聖霊修道女会のシスターたちが、果敢にもこの課題に取り組みました。医療分野を始めて70年。そして26年前、まさに必要となってきた老健施設を始めました。それはその時に必要な状況に応えるための働きでした。



理事長 森山神父

そして今。何が必要となっているのでしょうか。日本ではかなり社会制度は整っていると思います。しかし制度は整っても、それを実施して行く中で、多くの問題が出てきています。時々報道されるニュースの中で、教育にかかわる問題、福祉事業にかかわる問題、医療にかかわる問題が時々報道されます。それは制度の問題もありますが、多くの場合、「人の問題」があるような気がします。制度（施設）を利用する側も制度を提供する側も、それぞれに課題があるという気がします。

日本は高齢化社会といわれ、その中で生活（経済的に、身体的に）に困る人を対象に多くのことが提案され、実施されています。私たちのサンタアリアも老健施設として、高齢者のある状況に対して奉仕しています。しかし、そこに忘れてはならない「視点」があります。それは「利用する側」も、「提供する側」も「人である」ということです。それは「尊い」とともに「弱い」という側面を持っていることです。その自覚をもってこの施設が存在することが、今の日本での活動の意味のような気がします。切磋琢磨して。

社会福祉法人聖霊会 理事長 森山神父

新年度を迎えて

老人保健施設サンタマリアは、設立して26年になりました。2000年には介護保険制度が始まり、17年経った現在、介護保険費は10兆円を越えようとしています。医療保険は2年毎、介護保険は3年毎に法改定を行っており、次回平成30年の医療介護同時改定では医療と介護の一体化が今まで以上に計られる予定となっています。厚生労働省は、老人医療や介護については、病院や施設ではなく、これまで以上に在宅中心の方向へシフトしていきます。そのため高齢者が出来る限り住み慣れた地域で、尊厳を持って、自分らしい生活を送ることができるようにする地域包括ケアシステムを構築しようとしています。



施設長 永井敏也

老健は、この地域包括ケアシステムの中核の施設として位置づけられています。当施設においても、在宅強化型施設となり、在宅復帰を支援すると共に、地域の老人会と提携し、この地区においての地域包括システムに参画していきたいと思っています。

また、今後患者数が700万人に達すると言われている認知症に対しても、国の新オレンジプランに基づいて、認知症初期集中支援チーム等と協力、対応していきたいと考えています。

さて、全国の老健施設は、前回平成27年度のマイナス改定の影響で収支率が2.7%となり、今でも3割は赤字経営の状態になっていますが、平成30年度の医療介護同時改定では、今よりさらに厳しい状況になる恐れもあります。しかし、当施設は、設立26年の歩みや聖霊会の事業理念である「愛と奉仕」を礎として、今後も社会のため、老人福祉のため、努力を続けていく所存でございます。ぜひとも皆様のご支援をお願い申し上げます。

施設長 永井敏也

運動会

平成28年10月12日（水）



バザー

平成28年11月30日（水）



ボランティア感謝式

平成28年12月12日（月）



クラフトクラブ

平成28年12月20日（火）



クリスマス・ミサ

平成28年12月21日（水）



餅つき

平成28年12月28日（水）



家の祝福式

平成29年1月4日（水）



獅子舞

平成29年1月4日（水）



誕生日会

平成29年1月18日（水）



褥瘡対策勉強会

平成29年1月30日（月）



豆まき

平成29年2月3日（金）



毎日簡単体操 ～上半身編～

車椅子や椅子に座ったまま出来る体操を紹介します。

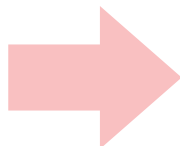
御家族様が面会に来られたときなど、利用者様と一緒に実施してみてください。

◇肩こり予防体操

※車椅子をこぐ方、猫背の方に特にオススメです(痛みのでない範囲で行って下さい)

①肩の上げ下げ 回数:10回

耳に近づけるように肩を上げ、少し保って“ストン”と下ろします



②肩回し 回数:10回

両肩に手を置き、ひじを大きく前から後ろへ円を描くように回します



③首のストレッチ 左右各10秒

肩に手を置き、反対側に首を傾けます(ゆっくり10秒数える)



平成29年4月 新入職員紹介

4月1日に入職した新しいスタッフです。(左から)

倉地菜月(言語聴覚士):

病院での経験を活かして、最良のリハビリを提供できるよう、常に笑顔で頑張ります。

近藤塔子(介護福祉士):

利用者様のニーズにお応えできる素敵な介護士を目指してまいります。よろしくお願いします。

小栗鈴裕(介護福祉士):

好きな果物はイチゴです!!元気に明るく頑張りますので、よろしくお願いします。



イースターを祝って、利用者S様が描かれた作品です。

社会福祉法人 聖霊会 老人保健施設 サンタマリア

住所: 名古屋市天白区鴻の巣1-1101

Email: info@santamaria.or.jp

電話: 052 (803) 3611

ホームページ: <http://www.santamaria.or.jp>

FAX: 052 (803) 7435

次回発行予定 2017年10月